

FAQ

よくあるご質問

Q. メンバーになるとどんな活動に参加するのですか？

- A. 基本的には、不定期に開催されるワークショップへの参加を主な活動とします。その他にも、舞台芸術を支えるデザイナーたちのレクチャーや、演劇ジャーナリストによる世界最新の演劇情報のレクチャーなども企画しています。また、メンバーは芸劇の自主・共催などの公演の舞台稽古や公演を見学する機会もあります。（ご招待できない公演もありますのでご了承ください。）

Q. 活動の時期はいつごろですか？

- A. 本年度はオーディション/ワークショップのみで、本格的に始動するのは来年2019年4月以降の予定です。ワークショップは月一度とか、週一度といったように定期的には開催するのではなく、数日〜一、二週間などの単位で、不定期に開催される見込みです。来年度最初の実施時期については、今年のオーディション/ワークショップ実施の際にアナウンスする予定です。

Q. ワークショップには全て参加できないと応募できませんか？

- A. 今年12月のワークショップについては、全日程ご参加できる方にご応募頂きたいと思います。来年4月以降については、まだ活動時期を発表できません。できる限り参加して頂きたいですが、他の芝居活動があるために参加できない、期間中一部スケジュールの都合が悪い、というような場合にはその都度ご相談させていただく予定です。

Q. 他の劇団や養成所、大学、事務所などに所属していてもメンバーになれるか？

- A. 問題ありません。

Q. 活動は全て無料ですか？

- A. 12月のオーディション/ワークショップ、来年4月以降のワークショップやレクチャー、舞台稽古見学なども基本的には無料です。特別な技能習得のためのワークショップが開催される場合、ご招待枠がない公演などに関しては、一部有料となる可能性もあります。

Q. 交通費や参加ギャラは支給されますか？

A. メンバーにこのような金銭は原則として支給されません。

Q. メンバーになると芸劇の主催、共催公演などに出演できますか？

A. 自動的に誰でもが出演できるということはありません。ただし、芸劇主催・共催公演などのオーディションを受けて頂くことは可能です。オーディションの結果、採用されれば、出演することができます。

Q. メンバーとして所属する期間に上限はありますか？

A. この「道場」は養成所と異なり、このカリキュラムを習得すれば卒業、というようなメニューは組まれておりません。現時点では、上限を設定しておりません。しかし、途中でメンバーの交替の可能性はあります。メンバーが抜けた分は新たに募集を行う可能性があります。

Q. 応募に際しては、国籍は問いますか？

A. 国籍も不問ですが、ご応募頂けるのは日本語でコミュニケーションできる方とさせていただきます。

Q. メンバーになって、何か縛られることはありますか？

A. 東京演劇道場メンバーには、日本の法律、社会の規則を守り、公序良俗に反しないことが求められます。

Q. メンバーの人数はどのくらいですか？

A. 応募人数とオーディションの結果をみないとはっきりとはお答え出来ませんが、現時点ではだいたい20人程度のメンバーで活動していくことを想定しています。